事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画) 21年度予算編成後 平成 21 年 3 月 24 日 作成 20年度決算把握後 平成 21 年 6 月 日 作成														
事務事業名								マニフェスト 全庁横断 集中改革 関連 は 課題関連 プラン関連						
総合	政 策 2 緑豊かな環境と共生するまちづくり							所属部						
計画		施策	8	廃棄物の抑制とリサイクルの推進					所属班 環境衛生班 (内線) 1144					
体系	*							法令	法令根拠					
	予	·算科目	会計 1	款 4	項 目 1 7	事業連番 10123	年度で終了	で終了 21年度から開始 成果優先度評価結果 5 コ자削減優先度評価結果 93						
事業期間 単年度のみ ▼ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (年度) 事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)														
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定復数平度事業は至体像を記述) 【事業の内容】 法律で禁止され、住みよい環境を脅かす不法投棄を抑制するための啓発活動や不法投棄防止パトロールを行う														
【業	努の	の流れ】 不法	投棄防	止の啓	発、不法投棄阿	防止啓発の看	板設置、不法技	殳棄防止パトロ	ールの実施					
【主	行	多算費目】 職	員手当	等、需用	用費、役務費、	公課費								
(1)	事	犬把握の部(務事業の目6	内と指標											
20年	三度		度に行		な活動)(DO			20年度	度計画(21年度 に同じ	を に計画して	いる主な活動	力)(PLA	AN)	
不法の実			、不法	投棄防.	止啓発の看板	設置、不法投到	乗防止パトロー	ル						
不法	投	置箇所数 15 棄防止の啓発	広報		月知 3回			(5)活重	助指標(事務事	業の活動量を	表す指標) =(①の指標	票 (単代	
不法	投	棄防止パトロ・	ール 1:	2回				ニュア	広報掲載回数 看板設置		を表す指標) = ①の指標 (単位) 回 箇所			
②: 市民	-	象(誰、何をタ	付象に	している	るのか) * 人々	や自然資源等	Ę	⑥ 対象	負指標(対象の	大きさを表す扌	旨標)=②の指	標	- 単位 ・ 単位 ・ 人	
1.		図(>の事業)	- F	てお右	見をどう変える	<i></i>		1 イ	人口	ま 子 座 た 丰 子	松 挿) _ ② の			
					Rをとり変える 市民意識を高			= '	具指標(意図の 不法投棄相談 ・		指標)=300	百悰	(単位 件	
			うにどん	しな目的	的に結び付け	るのか)			成果指標(上		戊度を表す指 様	票) = ④(の指標 (単位	
		処理される							不法投棄発生 廃棄物の適正		苦情件数		件 件	
(2)	総.	事業費・指標	等の推	能移 単位	18年度	19年度	20年度	20年度				全体計画		
		国庫支	出金	千円	実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	(目標)	(予定)		~ 年度	
		財 都道府県 源 地方		千円 千円								期		
	事業			千円 千円								総トー		
投入	費	一般則 (A)事業	才源	千円	0	366 366	480 480	389 389	293 293	440 440	440 440	╣グ 数┣		
量	人	うち指定	経費	千円	· ·		400	000	200	440	440	ル年の		
		正規職員従	事人数	人	3	3	5		5	5	5	スカト		
	牛	延べ業務 (B)人件費	計	時間 千円	716 2,843	716 2,850		2,786	760 3,025	760 3,025	760 3,025			
H	<u>۱</u>	-タルコスト(A 活動指標)+(B) ア	千円	2,843 1	3,216 3	3,505 3	3,175 3	3,318 3	3,465 3	3,465 3			
	対象指標成果指標		イア	箇所 人	20 53450	12 54047	15 54518		15 55060	15 55610	15 56160	目総.標合		
			イ ア	件	10	12	5	5	5	5	5	数計 値画		
			イア		50	35	30	29	30	30	30	22		
		位成果指標 務事業の環 ^り	<u>イ</u> イ 意変化	<u>件</u> 件 ・住民:	29	36	40		40	40	40			
1	_O	事務事業を	開始し	たきっ	かけは何か?			台されたのか? 情が言われる 。						
市民	等	に不法投棄を	しない。	ように呼	びかけるため	啓発事業を始め	めた			品レレ ベア1	込亦わったへ	りかくの		
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 年々不法投棄の量が増加している														
そのため啓発活動も増加傾向にある														
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?														
4-1														
なし														

	事務事業名	不法投棄防止	啓発事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課										
2	評価の部(SEE): ①政策体系との勢		その事後評価、ただし複数年 □ 見直し余地がある ⇒【理				· 云· · ·										
	①収束体系との登	登石7生		甲】	一3評価福未の総括	(SEE)	-										
	この事務事業の目的は市か?意図することが結果に		不法投棄・ポイ捨てなどしない	という市民	この意識を高めることに。	より、不法技	没棄の防止に結びつく。										
E																	
的妥	② 公共関与の妥	学当性	□ 見直し余地がある ⇒【理☑ 妥当である ⇒【理	申 少 申 少	⇒3評価結果の総括	(SEE) K	二 反映										
当 三 三	なぜこの事業を市が行われ、税金を投入して、達成する	なければならないのか? 5月的か?	不法投棄防止啓発は市の重要		ある。												
性評	<u> </u>	7 H H W . :															
	③ 対象・意図の	妥当性	□ 見直し余地がある ⇒【理	申〕シ	⇒3評価結果の総括	(SEE)	反映										
	対象を限定・追加すべきが	い?意図を限定・拡充す															
	べきか?																
	④ 成果の向上余	:地	✓ 向上余地がある ⇒【 理	曲万	⇒3評価結果の総括	(SEE) k											
			□ 向上余地がない ⇒【理由】 う														
	成果を向上させる余地は 準とあるべき水準との差異 成果向上が期待できない	はないか?何が原因で	啓発を行うことにより不法投棄が減少する。 														
	⑤廃止・休止の原		□ 影響無 ⇒【理由】		91年度計画(91年度)ヶ紅両)、	ている主な活動) (PLAN)										
有	ī		☑ 影響有 ⇒【その内容】				CV の土な伯勒)(FLAN)										
刻 性	事務事業を廃止・休止した の内容は?	た場合の影響の有無とそ															
評	Ż																
佃	5 ⑥ 類似事業との 可能性	統廃合・連携の	□ 他に手段がある□ へ(身)	具体的な	手段, 事務事業)												
	目的を達成するには,この法はないか?類似事業と		□ 統廃合・連携ができる		由 → 3評価結	果の総括	(SEE)に反映										
	類似事業との連携を図るごが期待できるか?		■ 「														
			_	1.1.1 A													
-	⑦ 事業費の削減	 就余地		申】②	⇒3評価結果の総	活(SEE)に反映										
	成果を下げずに事業費を	削減できたいか?(仕	▼ 削減余地がない ⇒【理 看板設置のための看板の作品	由】つ	;												
	様や工法の適正化、住民		有似改画のための有似のTFA	(負は必安	÷ o												
率性		業務時間)の 割	✓ 削減余地がある ⇒【理	曲】为	→3評価結果の総	〉 (CDD) / z 层 m.										
評価	減全地	术 /为时间/ V / 円1		日 乙	一つの計画を入りが	31日 (OEE	八尺灰										
Ιμ	やり方を工夫して延べ業系 か?成果を下げずにより』		不法投棄防止看板設置及び不法投棄防止パトロールびついては委託でも可能。														
	託でできないか?(アウト)																
	③ 受益機会・費化余地	用負担の適正	見直し余地がある ⇒【理公平・公正である ⇒【理	•	⇒3評価結果の総	》括(SEE)に反映										
性																	
評価																	
3	評価結果の総括		l	17-1													
(1)1次評価者として	の評価結果		(2))全体総括(振り返り、	反 省点)											
	① 目的妥当性		[切				ことにより不法投棄が減少する。 方止看板設置及び不法投棄防止パト										
	② 有効性③ 効率性	7. TET IN REPORT OF THE PROPERTY OF THE PROPE															
	今後の方向性(事																
	(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 「廃止」 「休止」 「目的再設定」 事業統廃合・連携 ▼ 事業のやり方改善(有効性改善) (2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																
▼ 事業のやり方改善(効率性改善) □ 事業のやり方改善(公平性改善) コスト																	
□ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																	
不法投棄防止パトロールを実施する。																	
										る						/	
			の統括課長の総括)	1 . 0	古结座由 4.6	古外口	・										
)目的の直結度)貢献度	3 3	(直結度高い (貢献度高い		直結度中 4~6 貢献度中 4~9		度低い 7∼9 変低い 10∼12)										